

最近東芝の扮飾決算より始めて、日産、神戸製鋼、三菱マテリアル等我が國有数の大企業に於ける不祥事相繼ぎ露見す。これらに共通するは「データ」の改竄にして、國家の將來を憂へざるべからず。一般に資料の改竄は所期の成績未達成を隠蔽せんとして犯行に及ぶを始めとし、更には密かに私腹を肥さむとて基本データ取扱の職務を悪用するに至る。但し此等は上司の適切なる管理指導により防止乃至極小化を期するに能はざるなし。然るに今次の諸事案はこの類にあらず、實行者は同年代の内學業成績優秀としてこれら大企業に就職、將來を屬望せられをり、罪の意識より「會社のため」の昂揚感さへ感ぜらるゝを如何せむ。

抑もデータは採取、記録、統計の三段階處理を経て、用途に従ひ利用可能となる。初等理科教育に於てこの三段階の手順を示すと共に、其の示す數値の侵すべからざるの由を十分に納得せしむるを要す。然るに我が初心の折を思ひ返すにかゝる注意を受けたる記憶定かならず。當時の道德觀念よりせば言ふまでもなきことゆゑ先生も特に仰せざりけむ。然るを戦後道德の授業もなきまゝに、この注意せざにもありたるにや。

數年前STAP細胞事件とて天下の研究機關理化學研究所にデータ捏造の取沙汰ありて、有爲の研究者自殺に發展す。本件なほ疑問を残すも、再現實驗遂に成功せざりけるは、初期段階のデータ管理に問題ありと言はざるを得ず。當時の研究所長若手研究者にデータ管理の徹底を嚴命すと雖も、本來初等中等課程にて身に著くべければ、それ程我が國科學技術水準の低下を直視すべきなり。

データの捏造、改竄は科學者の良心にて防止可能とばかりは言ひ得ざるは組織の介入なり。正しきデータにより不合格の判定とならば、その製品は不良品となり、組織に損害を與ふ。「何とかならぬか」とならば、遂に改竄に手を染むるに至るにあらずや。但し最近は測定結果は自動的に電算機の記憶となり、現場に於ける改竄は殆ど解決と見ゆ。最新技術を誇る製造大企業に於て未だに改竄ありとせば、組織的且つ確信的違反と斷ぜざるを得ず。

データの改竄抑制はなほデータに基く議論の定著によるべく、至る所にてデータの参照あらば、捏造、改竄は明らかに自らの信用を失墜せしむれば、正しきデータに基かざるを得ざらむ。例へば「脱原発」を繞る議論、免角理念の應酬に止り、データに基く討論殆どなし。特に我が國の温室効果ガス排出量、平成二十三年東日本大震災後原発全停により對前年 9 千萬トン増の13億 9 千600萬トン、同二十五年14億 9 千萬トンに迄(對震災前14%増)上昇するも、各種省エネ効果により同二十七年13億 2 千 5 百萬トンに迄恢復す。これには同年後半の川内原発 2 基再稼働の事實あり、その寄與率詳細未確定にして、近く發表の平成二十八年年度速報値を待つに於てをや(原発は伊方、高濱の再稼働により 4 基に増)。

一方データによる議論にては、その意味する所の認識の共有こそ求めらるれ。この點選舉に關する議論に牽強附會の數値解釋横行の傾向あり。特に今回與黨第一黨の平均得票率30%前後にて議席の過半数を占むるは小選舉區制を中心とせる選舉制度の缺陷なりとする意見、著名の評論家を含め多く聞けり。無論その傾向無しとせざるも、残りの70%に就き論述せず、恰もすべて野黨の得票率なりと錯覺せしむるは邪道ならずや。また選舉區制度にしても小、中、大の各種に利害夫々異なるあるを十分踏へずは、全き結論に至らざらむ。

「データ」に我が和譯を「記録情報」とす。單なる數字に非ざる意味を附加するの意なり

(平成二十九年十一月二十七日受附)